

FREE AWAJI BOOK 8890

特集.. 神田の街で描く。写す。



模写「フェルメール「小路」」吉田 道弘

FREE AWAJI BOOK 8890

フリーマガジン 8890
2017.03.01 発行

発行：一般社団法人 読書エッセイネットワーク
〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-105 フラタマツクス1311
Tel 03-3526-9883 Fax 03-3526-0090 www.waterras.com



編集：グッドモーニング株式会社 水代 遼
www.goodmornings.co.jp

¥0



WATERRAS

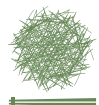
人情・情緒を引き継ぎ
大きなコミュニティをはぐくむ

waterras.com

春の和紅茶とスイーツ。

3/1～4/30
春の和紅茶と
スイーツフェア
やってます♪

酒 抹茶ケーキ・酒 ほうじ茶ケーキ 各¥600
和紅茶 紅優香 (温/冷) ¥650 その他和紅茶ブレンドティー (温/冷) 各¥700



GREEN TEA
RESTAURANT
1899
OCHANOMIZU

GREEN TEA RESTAURANT 1899 OCHANOMIZU

101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-4

TEL 03-3251-1150 FAX 03-3251-0270 <http://1899.jp/>

See the World through Your Own Eyes



Yuko Kotaki

私もこの目でとらえてみたい

このまちに注ぐ穏やかな陽の光を

このまちに吹く優しいそよ風を

この通りをゆく人のその心の内を

Text Daisuke Furuya

Photo Chie Maruyama

上瀧 由布子 写真展「糸遊」
銀座ニコソロン

2017年3月1日(水)～14日(火)

10:30～18:30 (最終日15:00まで)



伝統ある画材店で、アートに学ぶ・触れる

今年で創業 130 周年を迎えるすずらん通り沿いの老舗画材店、文房堂。創業者の池田治朗吉はかの福沢諭吉の門下生で、福沢に西洋美術画材の輸入販売を勧められた経緯もあり店を始めた、という話からしたいへんな由緒正しさである。

この店が絵や彫刻といった美術をたしなむユーザーの熱い支持を得てきた理由は、その豊富な品揃えだけにあるのではない。実はここ、画材を買うだけでなく「習う」こともできる場所なのだ。

文房堂の 5F と 7F にあるアートの教室「文房堂アートスクール」では現在 1,000 人以上の人が美術を学んでいる。そのジャンルも水彩、アクリル画・油絵、版画、工芸、彫像など実に幅広い分野にわたり、現役で活躍中の講師陣を揃えたクラスの数々が常時複数開講されている。

あるクラスでは描いたり、塗ったり。またあるクラスでは彫ったり、機械を操作したり。その対象も静物から模写までそれぞれに違えど、みな一様に、対象を見つめるその眼差しに力強さがある。単に黙々と手を動かしているのとは決して異なる情熱やエネルギーが教室全体にみなぎっている。

「とにかく綺麗なパステルがあったので買ってしまい、使い方の習える教室に通ってみたい、ということで学び始める生徒さんもしれば、約二時間無心になって描くことが良いリフレッシュになる、という生徒さんも。過去の経験面でも、全くのビギナーから美大・専門学校出の人まで様々。ここはバックグラウンドも学ぶ動機も喜びの見出し方も人の数だけ違うんです。」とスクール運営を担当する仙石(せんごく)さん。「クラスのあとで先生に画材を選んでもらい、

See the World through Your Own Eyes



各教室を案内・解説頂いた仙石さん(右)。



気の会う仲間と近場の喫茶店でしばし語ったりもされてるようですよ」。文化の香り高い、この地ならではのエピソードだ。

銅版画の教室では、家庭にはなかなか置けない大型のプレス機をはじめ、腐食液やインクなど、完成までの各種工程が必要となる道具が揃い、制作現場感がより強く漂う。道具を揃えたり、装置や機械を使うせいか、男性に人気とのこと。

開校以来三十年以上にわたり、通算約五千もの人が、ここを通じて暮らしの中にアートを取り入れてきた。「創ること、表現することの楽しみ。それが精神的な豊かさにつながるのであれば、私たちにとても嬉しい限りです。今後皆さんの要望に応えられる講座を展開していけたら」。アートのまち・神田に幸あれ。



探究心赴くままに描き続ける、このぜいたくな時間。



プレス機を通した仕上がりがいかに? 銅版画制作のハイライトの時。



文房堂アートスクール 神田本校

千代田区神田神保町1-21-1
(株式会社文房堂5F・7F)

☎ 03-3291-3444

図 10:00~19:00 困 年中無休(年末年始、夏休み、GW除く)

写真で表現する、その楽しみを探る

形式的には一見もっともらしいものが誰にでも撮れてしまう、写真。いい写真を撮るには、技術だけでなく、自分の目に映るものごとをどう捉えるのか、そんな分析力や批評性もより大きく関わってくる。そんなぱつと見には捉えどころがなく奥深そうな写真表現に関する学び舎が、神田明神のすぐ側にある。

「写真表現 中村教室」。97年の開校以来、



受講生らの表情に、学校としての充実ぶりが見てとれる。

社会人を中心に、主婦、シニア、高校生含め学生までたくさんの人が、写真を使った表現について日々通う写真の学校だ。一眼レフカメラを初めて手にする人向けの入門コースから、上級者向けのゼミナール、またデジタルプリント技術のクラスまで、志を持ったあらゆる人のための学びの場が提供されている。



講師の小宮山さん。手前に見えるのはこの学校での先壁格 (!)、アンソニー。



暗室では、赤みを帯びたセーフライトの光だけが室内をほのかに照らしている。そして黙々と作業は進行していく。



See the World through Your Own Eyes



教室の一角には受講生の作品が。学びを経て上達した証の数々。

「講義・実習・批評を繰り返して、それに日々見たものを記録する『日録 (にちろく)』を通じて受講生は各自レベルアップを図っています」と話すのは、講師のひとり、小宮山桂 (こみやまかつら) さん。自身もかつてこの教室の代表・中村氏に師事した写真家だ。期末には外部の講師も招き受講生の作品に向き合う『合同批評会』も。充実のカリキュラムで受講生の写真表現力は確かに養われていく。「上達の過程で、作品の中にその人にしかない個性が浮かび上がってくるようになる、そういう時に教える側としても充実感や面白みを覚えます」。

日録のお題は人により様々。ある人は教室を出てすぐ裏手の宮本公園で子どもが遊ぶ風景を収め、またある人は通勤通学時の何気ない路地を切り取る。

教室の施設の中には、現像や焼き付けを行う暗室も。「デジタル全盛のこのご時世、写真学科のある大学や専門学校を除くと、存在自体がなかなか珍しい」という。光が遮断された環境

下で、定着液に印画紙が浸されているその様子はちょっと幻想的ですからある。受講生もひたすら作業に夢中な様子。

また別の部屋では木製カメラ「アンソニー」が。アメリカで製造され100年にもなるうかというこの往年の一品、年季の入った装飾も美しく趣き深い存在感を放っている。「私が初めてのこの教室に来たその時からずっとあるんです。ある意味、この学校を見守ってくれているような(笑)」。どおりで、学校ホームページのURLにもその名が冠されているわけだ (anthony.jp)。

中村教室のゼミからは、写真界で名高い銀座ニコンサロンでの作品発表を開いた写真作家も輩出されている。神田界限は、実は写真表現の育つまちでもあったのです。

写真表現 中村教室

文京区湯島1-12-5 ☎ 03-5812-7645

☎ 水～金 11:00～19:00 土・日 10:00～18:00

☎ 月・火・祝

HANG OUT MAP

ぶらぶらマップ

illustration
Mougi Kazuya



A 5月13日(土)・14日(日) 神田祭

江戸三大祭および日本三大祭りの一つに数えられる、盛大な祭りです。神幸祭、神輿宮入が行われるこの二日間は特に多くの人で賑わい、迫力溢れる神輿担ぎを見ることができます。



B 4月1日(土)～4月4日(火) 春まつり

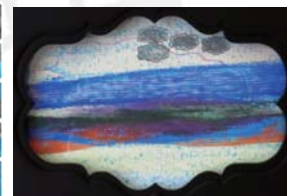


・時間 10:00～16:00
※2日(日)は坂東市・長岡市の産地直送野菜市開催(予定)

C 1月29日(日)～5月7日(日) Exhibition 小川哲「5X5 JAZZ」 立岩有美子「Nowdrawing - 10秒絵画・ガクガクドローイング」

ブルーノートのレコードから受けた着想を25ブロックのイメージに再構成した小川哲「5X5 JAZZ」、日常的なオブジェやさりげないイメージに物語性を潜ませる立岩有美子の「Nowdrawing - 10秒絵画・ガクガクドローイング」を開催中。

・場所 ワテラストワー2F cafe104.5
・参加費 入場無料



KNOCK! KNOCK!

神保町シアタービル

設計 _ 山梨知彦氏・羽鳥達也氏(株式会社日建設計)

羽鳥さん曰く、「外壁一点一点は本来もっと細かいピースに別れていて、それらをこの場で溶接して仕上げました。完成品は大きくてとても外からは持ち込めないですからね」



神田の建築物の数々を訪ねるこのコーナー、今回は建築設計事務所・オンデザインから近藤拓馬さんが登場、「神保町シアタービル」について専門家の目線からその魅力を語って頂く。

地上6階・地下2階、多面体で構成されたそのユニークなルックス。小学館・吉本興業という、共に古くから神保町エリアに拠点を置く企業同士の間で、映画とお笑いという互いのコンテンツが同居する施設を、という構想が持ち上がり2007年に竣工した施設である。

「個々の街が世代やコンテンツごとに専門性を強めてしまいがちな傾向が東京にはありますが、ここでは片やシニア世代が昔懐かしい昭和映画

を楽しみ、片や若い女性がお目当ての若手芸人さんのライブを観にやってくる。世代や趣味の異なる人が同じ空間内に同居する仕組みになっているのが特徴的ですね。多様な人が交差するという自然さ、健全さがそこにはあると言えます。」神保町を訪れる女子高生の数も、施設のオープン後、目に見えて増えたのだそう。

その多面体からなる外壁の意匠は、周囲への影響を抑えつつより豊かな劇場空間を確保し、一方で外壁が汚れないような雨水の流れを検討し尽くし考案されたもの。表面の銅板は耐震補強にもなっている。単に先進性なデザイン性だけを追求して作られたのではないのだ。

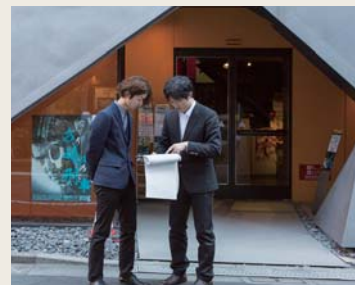


ビルの入り口もポイント。映画館や劇場にしてみれば珍しく、入り口の向こう側がうっすら伺える。音響等の都合上、普通であれば堅牢なドアできっちりと断絶されてしまいわからないところだ。「今はどんな作品をやっているのかな、と

気軽にに入れてしまいますよね。施設が外界と無関係に独りで完結してしまうのではなく、周囲や街に対して開かれてる状態を創り出していると言えると思います。」一級の技術を以ってして初めて叶う仕様だ。



当時、設計を担当した羽鳥さん(左)から建物の紹介・解説を受けるオンデザイン近藤さん(右)。羽鳥さんからは設計当時のエピソードもいくつか伺えたり。



通りがかりにでも気軽に入りたくなるビル入口にて。



総 評 オンデザイン代表・西田氏から

外観が見せる先進性の一方で、その内部では映画や劇といった、今も昔も変わらない人間ささあふれるコンテンツが日々展開されるというコントラスト。また物理的なオープンさもあって実現されている、外界や街との間での「馴染んだ」関係性。この施設には「新しいのに、でも懐かしい」、そんな魅力があります。

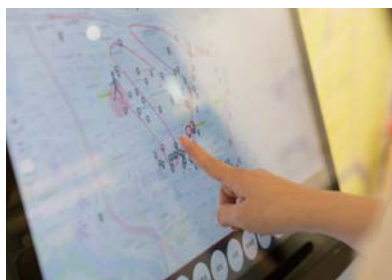
・株式会社オンデザインパートナーズ_横浜に拠点を置く建築設計事務所。
住宅からまちづくりまでを幅広く手掛ける。

まちとまち歩きについて発見がある場所、 お茶ナビゲート

Text ワテラスチューデントハウス 鈴木 真生
(日本大学理工学部まちづくり工学科3年)



エリア地図を背に、来訪者はウェルカム！な気持ちあふれるスタッフの方々に囲まれ、取材担当の鈴木さん（中央）もにこやかな笑顔。



気になるスポットを選ぶだけでサクサク簡単にマップをゲット！「街歩きステーション」の端末はエリア散歩の強い味方。



ワテラスチューデントハウスに暮らす学生が、神田周辺の魅力を内外に発信するコーナー。今回は御茶ノ水発・まち歩きの起点となるインフォメーションスペース「お茶ナビゲート」を訪れ、ここを利用してどんな風にまちが楽しめるようになるのかを探りました。

御茶ノ水ソラシティ内、各種ジャンルの飲食店が集まるオープンスペースの一角に、お茶ナビゲートがあります。見るからに入りやすそうな空間に足を踏み入ると、いろいろなコーナーがあるのが見渡せます。施設を担当されている中村さんの案内のもと、まず試してみたのは、入って右手、壁一面に広がる大きな地図とタッチパネル端末からなる「街歩きステーション」。神田エリア全体の各種お店や見どころを最大12個まで選んでオリジナル地図を作成できます。

また12個選ばなくても、関連したおすすめスポットを教えてくれる優れもの。ここから地図片手にいざ！まち歩きスタートができるというわけです。



タッチパネルで、御茶ノ水の過去を豊富な写真で振り返る。



Photo
Chie Maruyama

SPEAK OUT!

背表紙を眺めているだけで想像力が膨らむ「想・IMAGINE」。



ゆったりとしたスペースで、心おきなく御茶ノ水エリアのことを探ろう。



その隣の歴史ギャラリーでは、江戸時代から現代までのこのエリアの歩みが紹介されています。普段から見慣れているあの通りが「昔はこんなだったのか！」と驚かされるような写真も。ここに住んでいるからこそ、風景を重ね合わせる楽しさがあります。

そして奥にはゆるやかな曲線を描く「想・IMAGINE」という本棚。地域についてはもちろん、文学やアートなど幅広い分野の本は、このお茶ナビゲートの中で自由に読むことができるそうで、街に関する調べ物をしたいときにうってつけです。

この施設では街歩きツアーやワークショップも頻繁に行われており、様々な切り口のテーマからまちの魅力を探究し共有することもできます。

しばらく住んではいたけど、初めて知ったこの街の歴史や文化のこと。このまちに在住・通勤・通学する人でもその豊富な歴史や文化について知らない人もまだ多いと思います。初めて来る人はもちろん、この街に慣れている人にこそ、新しい発見を求めにここに来てほしいです。

WE ARE AAM!

最新の耳寄り情報をお届け！
「ワテラスメールマガジン」配信中



2016年12月にスタートしたワテラスメールマガジン。月に一度、ワテラス内の最新イベント情報や、淡路町をはじめとする神田地域の季節行事などをご案内しています。ぜひ購読してみてください！

購読するには？

☑ その1. Web から!! ワテラス HP から登録！

www.waterras.com/mailmagazine.html



QRコード
からでもOK!

☑ その2. ご来場の際に直接!!

イベント参加時のアンケート用紙に記入、またはワテラスコモン2F受付にて、「メールマガジン購読申込をしたい」とお申し付けください。お名前とメールの宛先をお伺いし、登録完了となります。
今後は、購読申込場所を増やしたり、読者限定特典を増やしていく予定です。ワテラスにご来場の際はぜひご登録を！



ワテラスメールマガジンの全貌をご紹介します

1. TOPIC OF THE MONTH

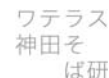
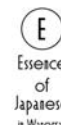
今月のトピック

とびきり旬のワテラス情報を、画像とともにご紹介！
毎年恒例の催し、大型企画などはこちらでチェック。展示にイベントにワークショップ。連動企画も一目でわかります。季節ごとに装いを変えるワテラスの魅力を感じていただけるはず。

2. EVENTS

今月のイベント情報

ワテラスコモンでは、いつも多彩なテーマのイベント情報が目白押し。
その月に開催予定のワークショップや、注目していただきたい展示、その他ワテラスが参加する地域企画も掲載。気になる催しがあったら、クリックして詳細ページへ。



3. LOCAL TOPICS

地域情報を伝える、編集部だより

ワテラスのある神田淡路町周辺でも、お祭りやフェアが日々開催されています。そんなオススメの地域情報も、事務局がまとめてメルマガの最後にお伝えしています。

AAMでは賛助会員を募集中です。今後も地域交流を盛り上げる様々な機会を提供していきますので、応援よろしくお願いいたします。

賛助会員の企業様

一般社団法人 千代田区観光協会
株式会社 龍名館
第一実業株式会社